武蔵野市福祉用具事業者連絡会
2017年12月28日版

「電動車いす　適合チェックリスト・確認書」の使用にあたって

・介護保険にて、ジョイスティック型、ハンドル型電動車いすの利用する際、ご利用者と電動車いす適合状況の確認、および、本人・家族・支援者の情報共有のツールとして作成しました。

・本チェックリストの評価結果は利用者の介護保険サービスの利用を制限するものではありません。また、安全な利用を保証するものでもありません。

・以下に該当する方は、医療機関、ケアマネジャー、福祉用具専門相談員とともに電動車いすの使用が妥当か否かを必ず検討してください。

◇脳血管障害の診断や、外傷などで脳の機能に障害をお持ちの方
◇進行性疾患（パーキンソン病、脊髄小脳変性症など）の診断を受けた方
◇日常生活上で物事の遂行や記憶に支障がある方、認知症の診断を受けた方
◇重度の視覚障害をお持ちの方

・6か月を経過した時点で再度チェックリストで確認作業を行ってください。
・6か月を経過する以前でも、身体状況に著しい変化が生じた場合や、操作方法が異なる機種に変更した場合は、再度確認作業を行ってください。

・利用開始後、身体の能力および運転適性の低下が認められ、ケアマネジャー、福祉用具専門相談員など支援者側の視点にて電動車いすの使用が妥当でない、と判断される場合、貸与の中止を検討します。
また、これまでの生活の質を維持できるよう、居宅サービス計画及び福祉用具貸与計画の見直しも行ってください。

電動車いす　適合チェックリスト・確認書

			実施日　　年　　月　　日
氏名	男・女	住所　〒	
年　　月　　日 生		TEL（　　）　　－	
介護度 要支援 1・2　要介護 1・2・3・4・5		介護者	続柄
体重　　kg	利き手　右 ・ 左	屋外移動能力	杖なし歩行、杖歩行、歩行器（車）、介助歩行、車いす
疾患名			

1）身体状況

有	無		
□	□	麻痺がある	左、右、上肢、下肢
□	□	可動域制限がある	部位（　　）
□	□	見えにくさがある	眼鏡使用　無　有
□	□	視野狭窄・欠損がある	
□	□	聴こえにくさがある	補聴器使用　無　有
□	□	高次脳機能障害がある　※1	半側空間失認 ・ 注意障害
□	□	年齢が75歳以上である	
□	□	注意力・判断力の低下がある　※2	
□	□	進行性難病である	

※1　有の場合、利用者等から医療機関に対し、意見書を求めるなどして利用可否を確認してください。
※2「認定調査結果」、警視庁における運転免許試験の「認知機能検査」、一般に公開されている「認知症チェックリスト」にて確認してください。

2）使用環境

使用頻度	毎日 ・ 週　　回
使用時間帯	朝 ・ 昼 ・ 夜
使用時間	（　　）時間/回
主な使用目的	買い物・散歩・通院・その他
保管場所	無　有

横断歩道	無　有（最長　　m）
踏切	無　有（最長　　m）
自動ドア	無　有
エレベーター	無　有
段差	無　有（最大　　cm）
坂道	無　有（10°以下・10°以上）
人や車両の多さ	

3）使用する電動三・四輪車

メーカー名	製品名	型番

4）操作能力

※静止状態で確認する

キー・電源スイッチ操作	可 ・ 不可
アクセル操作	可 ・ 不可
速度設定スイッチ操作	可 ・ 不可
ウィンカー操作	可 ・ 不可
ライトスイッチ操作	可 ・ 不可
手動ブレーキ操作	可 ・ 不可
クラッチ操作	可 ・ 不可
ハンドル操作	可 ・ 不可
ミラーの調整及び確認	可 ・ 不可

※実際に走行しながら確認する

前進	可 ・ 不可
後進	可 ・ 不可
右折	可 ・ 不可
左折	可 ・ 不可
旋回	可 ・ 不可
停止	可 ・ 不可
緊急停止	可 ・ 不可
段差昇降 （静止状態で3cm）	可 ・ 不可

5）実地評価

車両への乗り降りが安全にできる	可・要練習・不可　条件付き可（　　）
車幅感覚	可・要練習・不可　条件付き可（　　）
歩行者の回避	可・要練習・不可
交差点での一時停止	可・要練習・不可
交差点での左右確認	可・要練習・不可
右側通行	可・要練習・不可
横断歩道通過	可・要練習・不可
自動ドアの通過	可・要練習・不可・なし
エレベーター	可・要練習・不可・なし
坂道	可・要練習・不可・なし
踏切	可・要練習・不可・なし
保管場所からの出し入れ	可・要練習・不可　条件付き可（　　）
充電管理	可・要練習・不可　条件付き可（　　）

走行路を理解して走行できる	可・不可
傾斜や段差等、場所ごとの注意点を理解して走行できる	可・不可
前後左右の安全確認ができる、発進のタイミングを判断できる	可・不可
状況に応じた速度の判断ができる	可・不可
真っすぐに走行できる、内輪差を考慮して曲がることができる	可・不可
目標地点で的確に止まることができる	可・不可

道路の横断： 一旦停止・速度調節・発進のタイミング等、安全に横断できる	可・不可
踏切の横断： 一旦停止・速度調節・直角侵入等、安全に横断できる	可・不可・なし

6）利用に当たっての説明

済 □	乗る前の注意	体調・服装・車両状態等、乗車前の確認事項の説明
済 □	基本操作等（停止状態）	操作の手順、手動への切り替え方法や充電方法の説明
済 □	交通ルール	歩行者扱い、走行路（通行区分）、マナーの説明
済 □	緊急時の対処・禁止事項	故障や事故時の対処方法と利用を避ける場合の説明
済 □	注意事項	握りこみ停止、手動切り替え、運転防止バー、ティッピング等の説明

7）総合評価

良好・再評価・不可

使用の条件、利用ルート上の注意箇所

福祉用具専門相談員	印
ケアマネージャー	印
本人	印
家族（続柄）	印

取扱説明書【交付済・未交付】　保険加入【希望・不要】　保険内容の説明【承諾・未承諾】　区分【販売・レンタル】